

## 2023年度

科目名称	臨床動作分析
授業コード	AD331
英語名称	Clinical Movement Analysis
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	田中 和哉 (医療科学部), 平賀 篤 (医療科学部), 渡邊 修司 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	(B)自己実現能力の養成を目的とする。 運動学及び運動学実習で得られた基本的知識を元に、系統障害別に姿勢・動作を観察・分析手法を学ぶ。正常姿勢・動作との違いを明らかにし、逸脱動作と機能障害の関連性について学ぶ。上記について理学療法士の臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野を担当し講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	・理学療法士を目指す上で必要な評価方法の一つである動作分析について、理学療法士としての臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野を分担して講義する。
到達目標	【知識、理解としての学士力についての到達目標】 1. 基本的な姿勢や動作を力学的に説明できる 2. 人の正常動作を分析できる能力を獲得する 3. 機能障害の原因を分析能力を獲得し、理学療法治療への示唆を得る  【汎用的技能としての学士力についての到達目標】
計画・内容	1)オリエンテーション 担当：田中・渡邊修、理学療法士 2)力学的基礎 担当：田中・渡邊修 理学療法士 3)動作を力学的に理解するための要点 担当：田中・渡邊修 理学療法士 4)動作分析の概要 担当：田中・渡邊修 理学療法士 5)動作の記述方法 担当：田中・渡邊修 理学療法士 6)動作分析の手順 担当：田中・渡邊修 理学療法士 7)動作分析の手順 担当：田中・渡邊修 理学療法士 8)動作分析の手順 ・動作分析の臨床例 担当：田中・渡邊修 理学療法士 9)正常動作の観察と分析 担当：田中・平賀・渡邊修 理学療法士 10)正常動作の観察と分析 担当：田中・平賀・渡邊修 理学療法士 11)異常動作の観察と分析（整形外科疾患） 担当：渡邊修・田中 理学療法士 12)異常動作の観察と分析（整形外科疾患） 担当：渡邊修・田中 理学療法士 13)異常動作の観察と分析（中枢神経疾患） 担当：平賀・田中・渡邊修 理学療法士 14)異常動作の観察と分析（中枢神経疾患） 担当：平賀・田中・渡邊修 理学療法士 15)まとめ 担当：田中・平賀・渡邊修 理学療法士
授業の進め方	・講義と演習で進行する。
能動的な学びの実施	・アクティブラーニングを取り入れ、実習や演習を適宜行う。 ・グループ分けを行い、課題について全員でディスカッションを行い、解決案を導いていく。
授業時間外の学修	予習：講義内容を事前学習すること・教科書を概観しておくこと(60分程度) 復習：授業内容をまとめる(60分程度)
教科書・参考書	教科書： 観察による歩行分析 月城慶一 山本澄子 江原義弘訳 医学書院 動作分析 臨床活用講座 パイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 石井慎一郎 メジカルビュー社

## 2023年度

成績評価方法と基準	○成績評価方法と基準 課題レポート(40%) 期末試験(60%)
課題等に対するフィードバック	○課題等に対するフィードバック 提出されたレポートの内容をもとに授業に反映させ、または資料を配布する。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	演習では実技をするのに相応しい服装で臨むこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 オンライン講義とレポート課題にて講義を進める  成績評価方法と基準 レポート課題(100%)